

2021年 冬季一時金 3.05ヶ月

破天荒

教宣部

5099号

2021年
11月 5日

化学一般京滋地本
全竹中労働組合

昨日、冬季一時金回答指定日団交が開催されました。コロナ禍ではありますが半導体業界の追い風を受け二年冬以来の最高額「三・五ヶ月」の回答が提示されました。

冬季一時金

三・〇五ヶ月（昨年二・五四ヶ月）

対象期間（5月1日～10月31日）電子・システムの業績・世間動向・経済環境を考慮して回答。二社の売上高（前年同期比三六・二七%アップ）
電子四・四六% システム三・%）

電子

対象期間で売上が毎月3億円で推移、経常利益も安定した利益を確保できた。

国内営業：半導体関連業界の好調により三月以降連続して売上目標を達成。

海外営業：一月から売上目標を達成、夏のピーク時売上が減少。

国内・海外、長納期が問題でお客様へのフォローが大切、部品供給不足や部材のコストアップの影響は今後も注視していかねばいけない。

システム

対象期間の予算に対して七二・九%売上、数値においては黒字を維持しています。

半導体・鉄鋼・ショッピング業界などで設備投資の案件が継続してある中で、競合を交えた価格競争や部品調達の入手難などで先行きを確実に見通すことが難しい。

会社主張

二 年冬三・五ヶ月以来の過去最高の月数。システム売上が芳しくなかった影響もあつたが組合要求の二・九ヶ月を上回るもので充分納得していただけるものと思っています。

組合主張

要求金額を〇・一五ヶ月上回る回答に納得しています。ただ甲種嘱託社員の賞与に対して今回のように大幅回答があつた時は、普段の金額よりアップすべきと要請しました。

